いつ、どこへ避難すればいいの？

どうする

洪水から命を守る

3つの避難

1 早い段階で **安全な場所へ**

2 可能な限り **より安全な場所へ**

3 逃げ遅れたら **高い場所へ**

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則ですが、逃げ遅れてしまった場合には、その場その時の状況で最も安全と思われる場所で身を守ることが大切です。

命を守るための **3つの避難** について覚えておきましょう。

浸水が深いところ
洪水や土砂で建物が壊れてしまうおそれがあるところ など

自宅や最寄りに
身を守れる場所が無いところでは
必ず**早めの避難**が必要

避難1 早い段階で安全な場所へ

「高齢者等避難」、「避難指示」を聞いた場合には、被害の可能性の低い場所へ早めに避難しましょう。

例えばどんなところへ？

◎ 最寄りの指定避難場所
◎ 町会で指定した避難場所
◎ 約 100 年に一回の大雨でも浸水するおそれがある地域 の外

時間や体力に
余裕があるとき

避難2 可能な限りより安全な場所へ

避難が可能な限り、浸水や土砂災害のおそれがない安全な場所まで避難しましょう。

例えばどんなところへ？

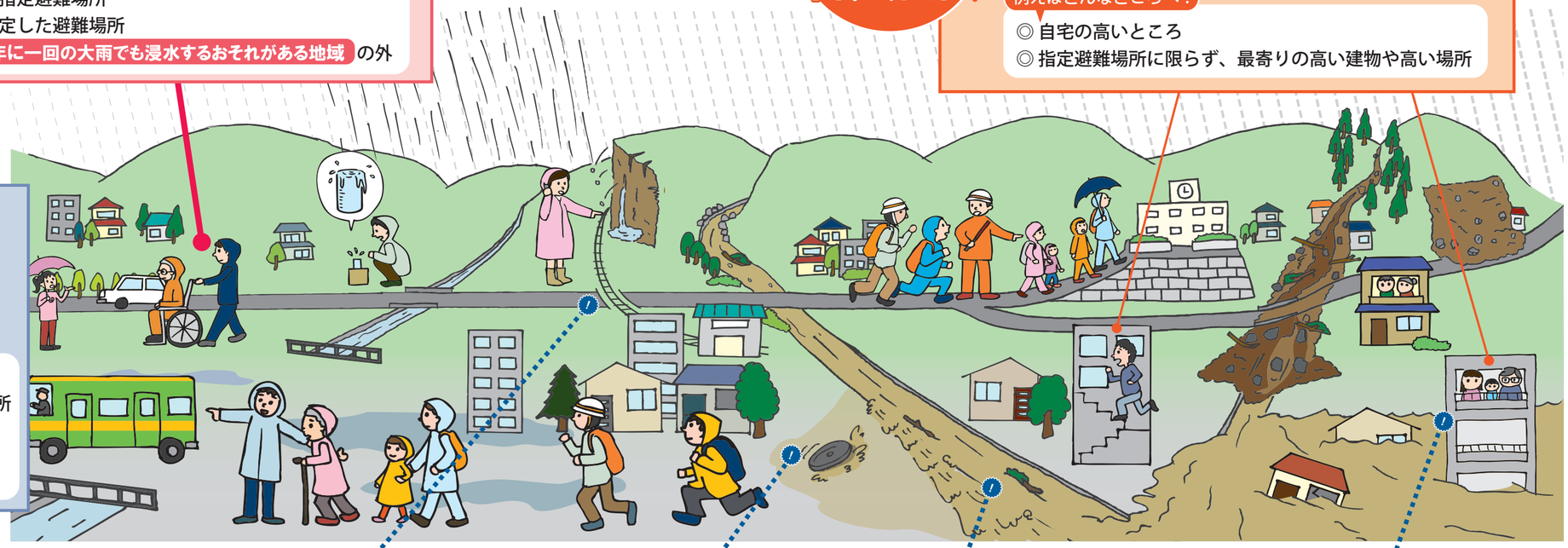
◎ 最大の大雨 でも
洪水時利用可能な指定避難場所
◎ 最大の大雨で浸水する
おそれがある地域 の外の
親戚・友人宅　など

避難3 逃げ遅れたら高い場所へ

浸水の中を歩くことは危険です。
浸水の中を避難しなければならない場合や浸水が迫ってきた場合は、その場その時の状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

例えばどんなところへ？

◎ 自宅の高いところ
◎ 指定避難場所に限らず、最寄りの高い建物や高い場所



注意

夜中は音も聞こえづらく、危険です。台風の接近や、大雨が降り続く予想の場合は、暗くなる前に早めに避難しましょう。

避難のときに 危険な箇所

高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。

⚠ マップ上でアンダーパスを示す記号

避難のときに 危険な箇所

水が濁って足元が見えにくくなります。もしフタが外れていると、転落して危険です。

避難のときに 危険な箇所

浸水が浅くても流れが速い場合は歩くのは危険です。浸水後、無理に避難することはやめましょう。

自宅にとどまる際の注意点

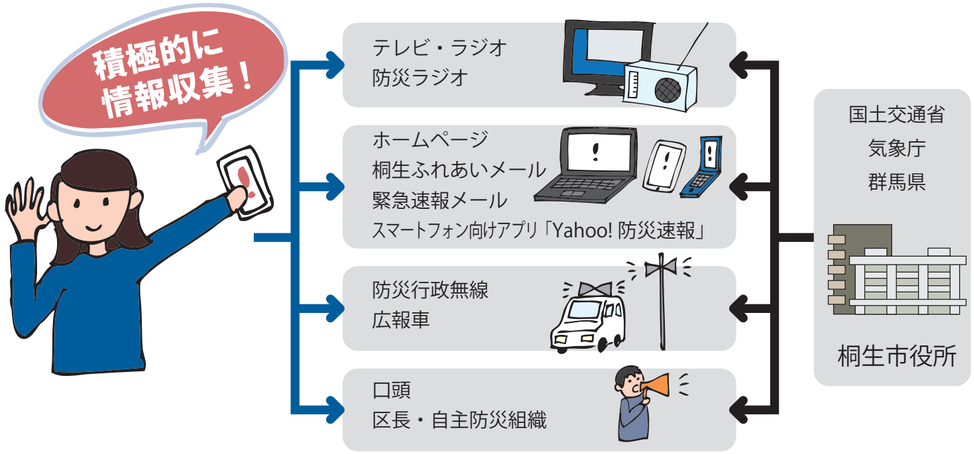
高い建物でも、浸水が及ぶ高さにとどまっていては危険です。建物の上層階など、浸水から安全に身を守れる場所へ避難しましょう。

水道や電気・ガス・トイレなどが３日～１週間以上使えなくなることもあります。十分な準備と長期間孤立してしまうことの覚悟が必要です。

備蓄品リストは 47 ページに掲載

台風の接近や低気圧などによる大雨が予想されるときには、

情報が伝わってくるのを待つだけではなく、自ら情報に注意しましょう。



メールで受け取る

▶ 桐生ふれあいメール 事前登録

桐生市の防災・防犯などの情報を、登録した携帯電話やパソコンにメールで配信します。

登録方法 登録URL https://service.sugumail.com/kiryu/

上記 URL からメールアドレスの登録を行ってください。
右の QR コードからもアクセスできます。

▶ 緊急速報メール 登録不要

緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話に配信します。

登録方法 設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話会社各社にお問い合わせください。

インターネットでの調べ方については 45 ページに掲載

テレビで調べる

データ放送

データ放送に対応しているテレビでは、「d ボタン」を押すことで、気象情報や災害情報を確認することができます。

ch		
	NHK	1ch
	群馬テレビ	3ch
	J:COM 群馬 ※加入世帯のみ	（ケーブルテレビ）

ラジオで調べる

防災ラジオ

FM 桐生放送波を利用し、国や桐生市による緊急情報を発信※します。

※緊急告知放送時には、自動起動し非常灯が点灯して最大音量で放送が流れます。

対象 市内に居住する人
市内に事業所を有する事業主

負担金 1,000 円

AM	NHK 第一	594 kHz
FM	FM 桐生	77.7 MHz

防災ラジオをお持ちでなくても、緊急時に FM 桐生で防災ラジオと同様の緊急情報を聞くことができます。

スマートフォンアプリで受け取る

▶ Yahoo! 防災速報 事前登録

台風の接近や避難所の開設状況などの緊急情報を配信します。

登録方法 登録URL https://emg.yahoo.co.jp

アプリをインストールして、地域を「桐生市」に設定してください。
右の QR コードからもアクセスできます。
利用方法については Yahoo! 防災速報ホームページをご確認ください。

避難情報

洪水や土砂災害などの危険性が高まった場合には、避難情報を発令します。
避難情報の種類と発令されたときの取るべき行動を確認しておきましょう。

警戒レベル5は、必ず発令されるものではありません。

注意 事前に情報が得られない雨もあります

短時間かつ局所的に発生する雨は、避難情報を発令することが非常に難しい現象です。

避難情報に加え、気象庁が発表する警報・注意報に注意する習慣をつけましょう。

気象情報・水位情報については 10 ページに掲載

降水量を自分で測ることができます

①雨が降り始めたら、カップを平らな場所に置く。

②溜まった水の高さを確認する。

注意が必要な雨

- 1 時間で 2cm → 1 時間に 20mmの雨（つまり）
- 降り始めから 10cm → 連続雨量で 100mm 以上の雨

気象情報（注意報・警報・特別警報）

大雨により災害が起こるおそれがある場合、警報や注意報などの防災気象情報が発表されます。

雨が強くなると → 大雨が降り続くと → 非常事態 さらに激しい大雨が続くと

注意報	大雨注意報、洪水注意報など 災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。	
警報	大雨警報、洪水警報など 重大な災害が起こるおそれがあるときに発表されます。	
特別警報	大雨特別警報など 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっている場合に発表されます。	この段階での対応には限りがあります

気象庁　気象の注意報・警報や台風情報や地震情報など

URL https://www.jma.go.jp
気象庁ホームページ ▶ 防災情報

TEL 177

テレビ（データ放送）
d ボタン（NHK 総合）

土砂災害警戒情報

地域の雨量などを考慮して，土砂災害発生の危険性が高まった地域に対して発表されます。

群馬県土砂災害警戒情報・危険度情報　群馬県内の土砂災害警戒情報発表状況や、1km メッシュでの土砂災害危険度判定など

URL https://www.dosya-gunma.jp/web_pub/

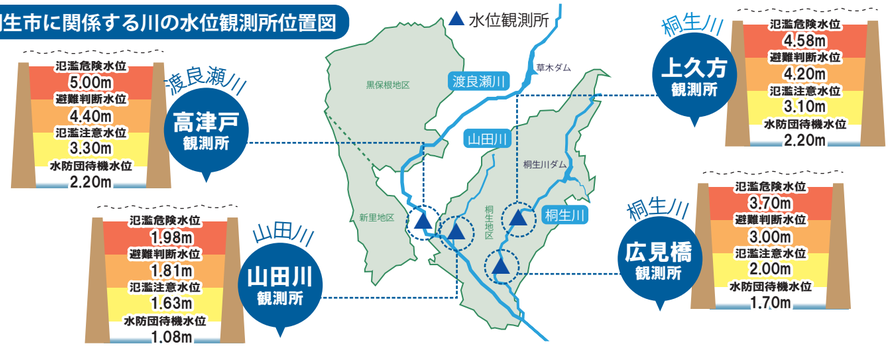
！ 雨の強さと予想される被害を知っておきましょう

1 時間の雨量	人や車の運転への影響	主な被害
20mm 以上 50mm 未満 予報用語 強い雨・激しい雨	・傘をさしていても濡れる ・ワイパーを動かしても前が見えにくい	道路が川のようになる
50mm 以上 予報用語 非常に激しい雨・猛烈な雨	・傘は全く役に立たなくなる ・車の運転は危険になる	洪水や土砂災害が起こることがある

河川水位情報

リアルタイムの川の水位は、テレビやインターネットで確認することができます。

桐生市に関係する川の水位観測所位置図



国土交通省 川の防災情報　河川の水位観測データ・最新の雨量情報など

URL https://www.river.go.jp

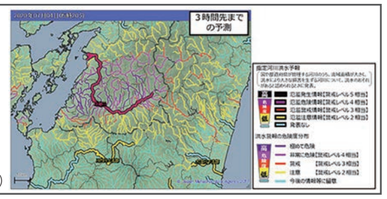
テレビ（データ放送）
d ボタン（NHK 総合）

！ 大雨による危険度を確認できます

中小河川の氾濫や内水氾濫、土砂災害などの危険度も確認できます。

気象庁　雨雲の動き、浸水・洪水・土砂キキクル（危険度分布）

URL https://www.jma.go.jp
気象庁ホームページ ▶ キキクル（危険度分布）



資料｜気象庁　洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）

ご存知ですか？

地域のちから

みんなで避難ルールなどを決めて みんなで逃げる取り組みが 進められています

みんなで決めて、みんなで逃げる

災害時、避難が必要なことをわかっていても、なかなか一人では決断できないものです。みんなで判断することで、避難の決断がしやすくなります。

洪水災害に備えた取り組み

境野地区では、独自の水害避難ルールを検討し、地区住民への周知のためのリーフレットを作成しています。

この水害避難ルールにそった避難訓練や防災訓練を実施するなどの取り組みをしています。

また、まちなかに洪水時の浸水深等を表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の取り組みも実施しています。

防災訓練

水害避難訓練

担架の使い方を学んでいます。

避難訓練後の説明会で専門家による講評を聞く参加者

取り組みのようす

過去の災害発生場所、大雨が降ると確認される予兆現象や避難方法・避難ルールなどをとりまとめています。

土砂災害に備えた取り組み

市内では、土砂災害に備えて、地域から犠牲者を出さないため、住民による避難ルール作りの取り組みを行っています。

地区の避難ルールを確認し、自主避難計画と合わせて避難行動を考えましょう。

桐生市土砂災害ハザードマップ ▶

◀ 桐生市ため池ハザードマップ

桐生市ホームページ　各種ハザードマップのダウンロードなど

URL https://www.city.kiryu.lg.jp/anzen/bousai/hazard

土砂災害警戒区域がかかる地域にお住まいの方に、自主避難計画を配付しました。
配付されていない場合は土砂災害ハザードマップをご覧ください。

自主避難計画
全対象地区で作成・配布済